

足立東 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典の探究

教科：国語 科目：古典の探究

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～6組 選択者

教科担当者：堀切

使用教科書：（新編古典探究（東京書籍））

教科の目標：

【知識及び技能】社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる資質・能力を育成する。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古典の重要性を理解し、自身と自身を取り巻く社会にとっての古典の意義や、価値について探究するための基礎学力を養う。	伝統的な言語文化に対する理解を深め、先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高める。	多くの古典作品に触れ、古典学習に対する意欲の向上を図る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書	読					
1 学 期	単元 「説話を親しむ」 「作り物語を読む」 【知識及び技能】 ・古典文法を理解し、内容を理解する。 ・和歌の修辭法を学び、内容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・芸や知識などを身につけた人々と、その周りの人々といった登場人物の関係性から、古典説話の面白さを味わう。 ・日本語の表記上の特徴や、同音異義語の活用など、言語としての日本語の面白さや特性に気付く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典作品に触れる中で、積極的に自ら理解しようとする。 ・作業に積極的に取り組もうとする。	・古典文法を理解させる。 「仮名遣い、品詞」について ・古文を読み、内容を正しく理解させる。 ・時代背景を含めた、作品当時の知識を理解させる。 ・関連する古典作品について調べさせる。 『宇治拾遺物語』 『十訓抄』 『竹取物語』	○	○	○	【知識・技能】 「仮名遣いや品詞」などの古典文法を正しく理解し、適切に使用している。 【思考・判断・表現】 作品の時代背景などを理解したうえで、内容の解釈を深めている。 古典作品と現代文学作品との共通点や相違点に気づき、日本文学に関する理解を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作品や背景となる時代に興味を持ち、古典作品の文学史上の意義を考えようとしている。	○	○	○	26	
2 学 期	単元 「作り物語を読む」 「軍記物語を味わう」 「歌物語を読む」 【知識及び技能】 ・古典文法を理解し、内容を理解する。 ・和歌の内容を理解する。 ・和歌を中心に、古文の修辭法について理解する。 ・作り物語から、答辭の文化や考え方を理解する。 「軍記物語」や「歌物語」の側面から日本の歴史についての理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・当時の人々の考える「物語」の内容について考え、今との共通点を考察する。 ・死を直前にした人々の心情と当時の時代背景を理解し、軍記物語の独特な世界観を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典作品に触れる中で、積極的に自ら理解しようとする。	・古典文法を理解させる。 「動詞の活用、和歌の修辭法」について ・古文を読み、内容を正しく理解させる。 ・時代背景を含めた、作品当時の知識を理解させる。 ・関連する古典作品について調べさせる。 ・古典作品において、特徴的な描写に触れ、その表現が及ぼす効果について考えさせ、古典的日本語表現について理解させる。 『伊勢物語』 『平家物語』 『源氏物語』	○	○	○	【知識・技能】 「動詞の活用」や「和歌の修辭法」などの古典文法を正しく理解し、適切に使用している。 古典単語の意味を理解している。 作品当時の社会状況についての理解を深めている。 【思考・判断・表現】 文法に基づいて正しく現代語訳している。 古典作品と現代文学作品との共通点や相違点に気づき、日本文学に関する理解を深めている。 作品に表れている古典世界の文化や価値観をとらえ、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 作品や背景となる時代に興味を持ち、古典作品内の人物の生き方について考えようとしている。 作品内の描写に興味を持ち、表現の工夫やその効果について理解を深めようとしている。	○	○	○	28	
3 学 期	単元 「故事と小話」 【知識及び技能】 ・返り点を理解し、漢文を円滑に読む。 ・故事成語の意味や、古典落語の内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品を適切に理解し、故事成語の教訓を読み取る。 ・古典落語の面白さについて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文作品に触れる中で、積極的に自ら理解しようとする。	・漢文の文法を理解させる。 「漢文訓読」について ・漢文を書き下した文を正しく読み、正確に内容を理解させる。 ・時代背景を踏まえて、作品が作られた経緯や意義を考えさせる。 『蛇足』 『畏饅頭』	○	○	○	【知識・技能】 「返り点や再読文字」を理解し、正しく書き下し文に直す。 漢文や故事成語とは何かという文学史的な知識を理解している。 【思考・判断・表現】 文法に基づいて正しく現代語訳している。 内容を理解し、故事成語の作られた意義について自身の考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 作品や背景となる時代に興味を持ち、古典作品内の人物の生き方について考えようとしている。 漢文の内容を、自分自身の経験に落とし込んで理解しようとしている。	○	○	○	16	
合計											70